

第41回

モノづくり現場リーダーの苦闘と喜びの奮闘記!!生の声だから伝わる、学べる2日間!!
逆境に負けない第一線監督者の集い!会場で監督者の生の声と熱を感じてください!!

第一線監督者の集い:名古屋

《会期》2023年2月8日(水)・9日(木) 2日間 (8日/10:00~16:40-9日/10:00~16:55)

《会場》愛知県産業労働センター (ウインクあいち) 大ホール+オンラインライブ配信

NAGOYA

(敬称略)

1日目 2月8日(水) ※受付9:40~	
10:00	開会 主催挨拶 インタロダクション
10:10	<p>1 みんなで掴んだ NO.1! ラスポスから真のリーダーへ!! ~自己変革で得た成功ストーリー~</p>  <p>ボスの立場だった私が、業務の進め方の変革を求められる中、メンバーの人材育成を進めながら職場の課題を解決。考え方の違いから苦戦するも自己変革でコミュニケーションを図り誰からも提案しやすい雰囲気をつくった事で物事が順調に進行。成功体験からリーダーとしての「人を導く進め方」を学べた事例を紹介いたします。</p> <p>ダイハツ工業 生産課課長 久保 収</p>
	<p>2 だめだめ社員の奮闘記 ~避けられる人材から「呼ばれる人財」へ~</p>  <p>周りからあいつだけは一緒に仕事したくない!自分勝手だめだめな新人社員がいろんな人との出会いで意識が感化されて監督者を目指し、いろいろな環境での経験を積んで、部長に「呼ばれる」人財へ、仲間と共に奮闘苦闘しながらも、対話を通して人間関係が変化し、成長していく取り組みを紹介。</p> <p>トヨタ紡織 刈谷工場製造部 キャビンフィルタ製造課 課長 澤木 隆行</p>
	<p>3 チームで安全職場に挑戦 ~安全専任者の想いを伝え現場を変える~</p>  <p>これまで生産現場の工長であった自分が安全専任者となった今、安全優先の想いをどうやって伝えていくのか苦悩した日々と若手・高齢者への関わりかけを続けることで少しずつ現場が変化して動き出した安全活動の事例を紹介いたします。</p> <p>大同特殊鋼 知多工場 主任第二室 小型係 工長 國枝 祥司</p>
11:10	質問票記入
11:15	休憩
11:35	1~3発表者との質疑応答 参加者による質問票をもとに発表者との質疑応答を行います。
12:05	昼食休憩
13:00	<p>4 現場と歩んだ 15年 ~係長って大変だけど...おもしろい!!~</p>  <p>爆発的に受注が増加する現場で新任係長として新たな係を担当し、現場の様々な課題・問題と向き合いながら上司・先輩のアドバイスや研修での気づきを行動に移し、多くの部下と共に歩み共に成長させていた過程を「苦悩」「成長」「発展」の3つの時代に分け報告させていただきます。</p> <p>プロテリアル(旧:日立金属) 自動車部品製造部 第一電装部品課 第一TSセンサ係 係長 出町 隆浩</p>
	<p>5 開いて解いた心の扉 ~自らの失敗体験を経たその先に~</p>  <p>若い頃は仕事で失敗してきたし、部下・米国人の育成、バドミントン部での指導でも、うまくいかなかった体験をしました。これらの失敗体験を経て、人の育成、技術の伝承において、人の心を開いて解く事の大切さに気づき、指導方法を変化・実践してきた事例です。</p> <p>豊田自動織機 コンプレッサ事業部 製造第三部 東浦機械課 工長 佐藤 崇裕</p>
	<p>6 指示待ち状態からの脱却 ~ファーストベンギンへの成長記録~</p>  <p>入社当初、QCサークル活動での私はリーダー任せの指示待ち状態でしたが、先輩とQC三重選抜大会の高い壁を乗り越え、東海選抜大会への出場をきっかけに達成感を覚え気持ちに変化が生まれました。期間契約社員から社員登用試験にチャレンジし、自らメンバーを牽引するファーストベンギンへ変化を遂げたストーリーです。</p> <p>富士フイルムマニュファクチャリング 開発管理部 物流1グループ リーダー 和泉 昌浩</p>
14:00	質問事項記入
14:05	休憩 & VTR講演
14:25	4~6発表者との質疑応答 参加者による質問票をもとに発表者との質疑応答を行います。
14:55	【コーディネーターによるガイダンス】
15:00	最優秀事例賞(大野耐一・杉山友男賞)投票 休憩
15:10	<p>【第41回特別講演】 第一線監督者としての コミュニケーションの磨き方</p> <p>株式会社Kairos 代表取締役社長 長友 隆司</p>
16:10	【全体総括】「発表企業の重点課題テーマまとめ」 《コーディネーター》日本能率協会コンサルティング SX事業本部 本部長 茂木 龍哉
16:25	【最優秀事例賞(大野耐一・杉山友男賞)の発表・表彰】
16:40	明日のご案内 閉会

2日目 2月9日(木) ※受付9:40~	
10:00	開会 インタロダクション
10:10	<p>1 新米リーダー奮闘記 ~ザッソウコミュニケーションで職場の笑顔を取り戻せ~</p>  <p>意気满满と理想の職場を目指したものの、業務に追われている内にメンバーとの信頼関係が崩れ、自信喪失。しかし、「メンバーの声を聞く」という当たり前のことが欠けていた事に気づき、雑談+相談(ザッソウ)を土台としたコミュニケーションを地道に実践。 「信頼の木」を成長させていった過程を紹介します。</p> <p>OLYMPUS 白河オリンパス 第2製造部 USスコップグループ US3チーム チームリーダー 佐藤 志信</p>
	<p>2 私達のSDGs ~チーム力は乗算 女性活躍の職場作り~</p>  <p>今でも「男性主体」という考えが浸透している職場が多く、女性が配属されると、孤立による「心理的」ストレスや連続作業による「身体的」痛みが発生するという問題が浮き彫りとなりました。どんな職場環境でも性別や国籍問わず活躍できるように職場作りの工夫を行い、強いチームの「絆」が生まれた事例を紹介いたします。</p> <p>ヤマハ発動機 生産本部製造統括部車体製造部生産1課第1工区 課長 松本 圭信</p>
	<p>3 井の中の蛙 大海を知る! ~自分を変えてくれた“ものづくり道場”で、現場カダントツな職場へ~</p>  <p>自分が一番と勘違いしていた若造が「ものづくり道場」で、「勤と経験と度胸だけの無知な自分」と「現場力の大切さ」に気づく。現場カインストラクターとなつて、教える楽しさ & 難しさ実感しながら自分自身も成長し、仲間と共に、どの工場にも負けない「現場力」とするために取組んできた事例を紹介いたします。</p> <p>日本ガイシ エネルギー&インダストリー事業本部 エンジネーリング事業部 製造部 電池製造グループ 係長 宇藤 光則</p>
11:10	質問票記入
11:15	休憩
11:35	1~3発表者との質疑応答 参加者による質問票をもとに発表者との質疑応答を行います。
12:05	昼食休憩
13:00	<p>4 供給危機を乗り越えろ! ~限界突破・全体最適・ダイバーシティでmuRata No.1 工程へのチャレンジ~</p>  <p>このままではお客様に製品を届けられない!今までの職場の常識では対応できない急激な生産拡大を迎えているが、コロナ禍や現場の多様性の高まりにより供給対応に強い危機感を抱いていた。自分たちが今できることは何か? 原点に立ち返り考えて自らの限界を突破し更に muRata No.1 工程を目指した活動を紹介いたします。</p> <p>福井村田製作所 第一製造部製造課 2課 グループリーダー 高島 弘行</p>
	<p>5 受動的思考集団がシーソーゲームをものにする! ~かつての輝きを取り戻す! 甲子園球児の意地~</p>  <p>入社当初から、これまでの様な業務もこなしてきました。その成果が認められ、大規模ラインのリーダーへ抜擢。持ち前の器用さで難く成果をあげるつもりでしたが、待ち受けていたのは...山あり山あり(山ばかり)で取り組んだ現場改革!3年にも及ぶ部下との二人三脚によるシーソーゲームをご紹介します。</p> <p>グローリープロダクツ 第一製品統括部 金融・OEM製品部 OEM チームリーダー 山田 一輝</p>
	<p>6 シャットダウンを乗り越えろ! ~未来を切り拓く活動の軌跡 情熱と思いのりの行動で掴んだ現場力~</p>  <p>今まで経験がない仕事へ配属になり、監督者として苦悩しながらもメンバーと寄り添い自ら学び行動。しかし、今後シャットダウンを迎えメンバー全員が異動していく。過去の経験で学んだ事を振り返り、様々な環境変化、人員の多様化が進む中、情熱と思いのりの行動でメンバーと共に成長を遂げた活動を紹介します。</p> <p>トヨタ自動車 エンジン製造部 工長 渡辺 哲治</p>
	<p>7 ロックされた部品を救え!! ~窮地で見たダイキンのDNA~</p>  <p>中国ロックダウン影響を受け、販売シーズンに入る直前に製品組立ラインが稼働停止に...。そこで市場の弾切れを回避すべく海外のサプライヤ工場で生産している部品を急遽内作する事が決まったが、ラインを構築する部品もない、人もいない、1日でも早い供給が必要という中ラインを立ち上げてきた怒涛の8日間をご紹介します。</p> <p>ダイキン工業 滋賀製造部 製造第2課 部長 中本 奈緒美</p>
14:20	質問事項記入
14:25	休憩 & VTR講演
14:45	4~7発表者との質疑応答 参加者による質問票をもとに発表者との質疑応答を行います。
15:25	【コーディネーターによるガイダンス】
15:30	最優秀事例賞(大野耐一・杉山友男賞)投票 休憩
15:40	<p>【第41回特別講演】 二宮金次郎にみる現場実践の極意</p> <p>親子をつなぐ学びのスペース リレイト 代表 中桐 万里子</p>
16:30	【全体総括】「発表企業の重点課題テーマまとめ」 《コーディネーター》日本能率協会コンサルティング SX事業本部 本部長 茂木 龍哉
16:45	【最優秀事例賞(大野耐一・杉山友男賞)の発表・表彰】
16:55	閉会

第一線監督者の心構え

- 一、相手に伝わる言葉で表現すること
- 一、一人一人と語り合い、向き合うこと
- 一、部下を信じて任せ、挑戦させること
- 一、結果ではなく、行動を褒めること

- 一、誠実かつ謙虚で信頼されていること
- 一、目的志向で論理的思考を持っていること
- 一、自分を磨き、人の手本となる行(考)動をとること

沿革

本大会は、1982年(昭和57年)当時の日本能率協会中部地域評議員会・議長である故・大野耐一氏(当時 豊田紡織(株)相談役)のご尽力を得て、第1回目を名古屋で開催いたしました。以来40年間にわたり、各社で活躍される第一線監督者の方々による職場活動事例の発表と情報交流の場として毎年実施しております。

開催のご案内

《企画委員長》



株式会社 豊田自動織機 人事部 主査
桑野安史氏

多くの企業様や関係機関のご協力をいただきまして、2022年3月、節目となる第40回大会を開催することができました。コロナ禍に於いて多くの聴講者を集めての開催が危ぶまれた中、皆様のご協力により40回まで継続できたことに、心より感謝申し上げます。

第40回大会では記念行事として、第35~40回大会の発表者の皆さんにご参加いただいた「発表者交流会」も開催し、活発な意見交換の機会を得ることができました。歴代のご発表者は、明るく、元気で楽しいばかり。コーディネーター茂木先生のリードの下、製造現場の明るい将来像を描くため、監督者の役割の変化を、「過去→現在→未来」の横軸の切り口で整理したうえで、縦軸の切り口を、各グループのディスカッションで抽出していただきました。「コミュニケーション」「人材育成」を始め、様々な切り口での活発な意見交換の場となり、参加された方からは、「とても良い刺激、気づきを得た」といった嬉しい声をいただきました。

最も大きな「気づき」としましては、時代は変わっても、やはり、ものづくりの中心は人であり、職場での人間関係の善し悪しが大切であるということでした。

価値観の違った人間が集まり、共通のゴールに向かって安全に、高品質の物を生産するためには、各企業様からの発表者のように、志の高い監督者のリーダーシップが不可欠であるということ、あらためて感じた次第です。

コロナ禍に於ける発表会も、リアル会場とオンラインライブ配信を組み合わせ、ハイブリッド形式が定着しつつあるように、人とのコミュニケーションのスタイルは、大きく変化しています。多くの聴講者の皆さんから、様々な感想やコメントをいただきました。特にコミュニケーションに関する発表事例への共感の声を多くお寄せいただきました。常日頃、監督者の皆さんが、ますます多様化する働き方、人材からなるチームの中で、部下とのコミュニケーションに悩みを抱えていらっしゃることを想像できます。

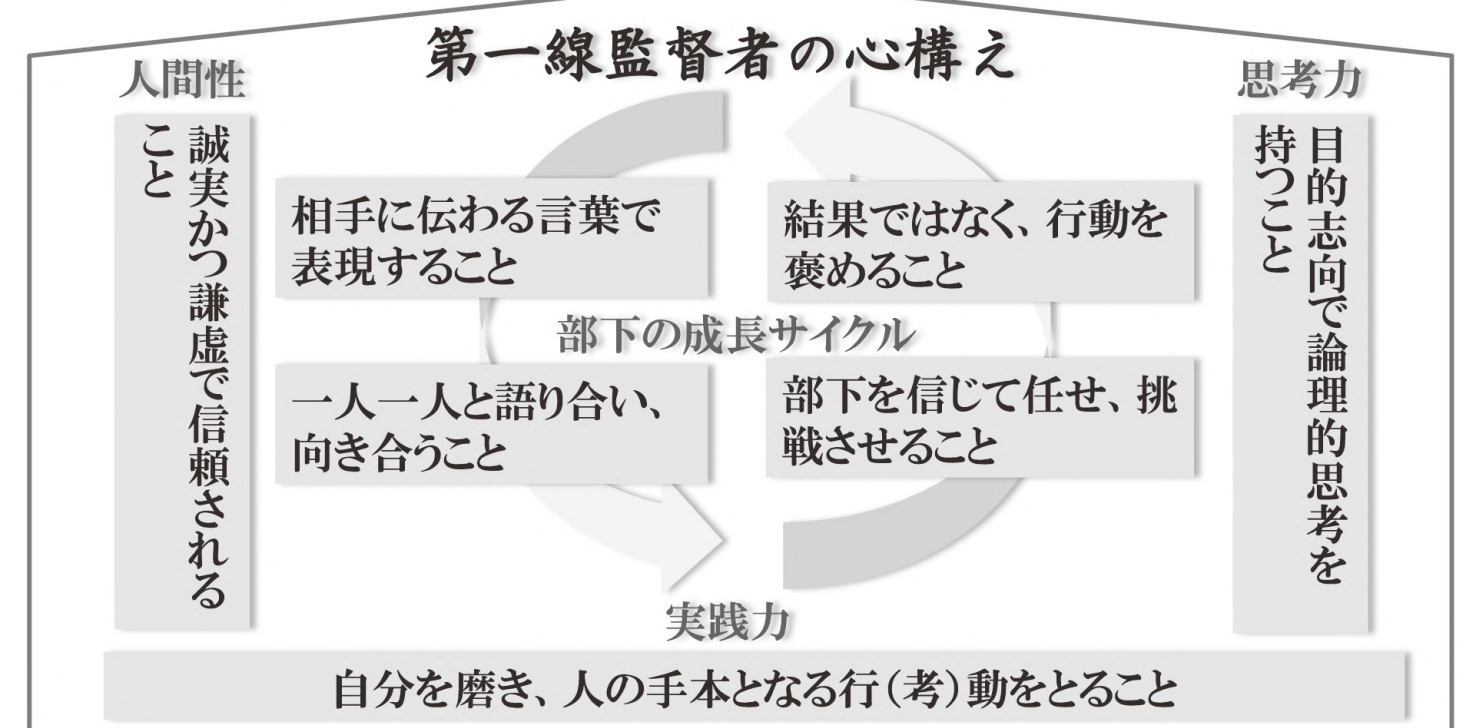
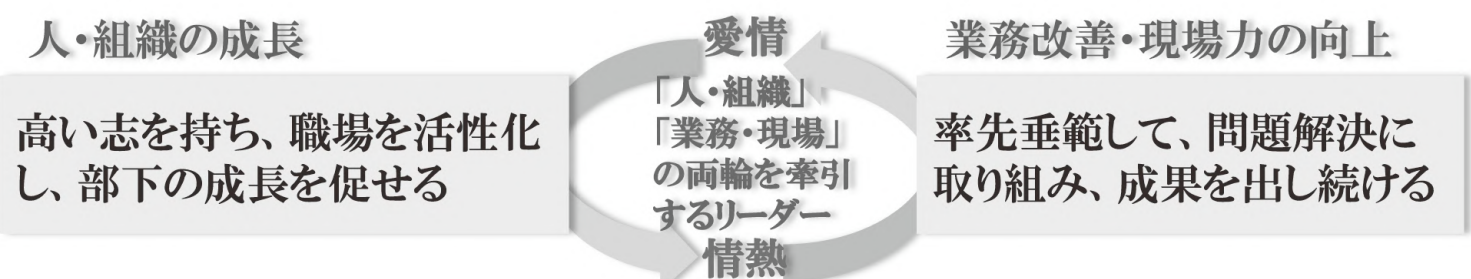
これまでの発表者の皆さんに共通する点としては、オンラインではなく、オフ会のように「面着」で、会社を離れた非日常での「場」を設けて、監督者自ら、胸襟を開き、仕事上だけではない一面をさらけ出すことで、距離を縮め、お互いが共感・共有する事柄を一つひとつ積み上げ、信頼関係をつくり、人材育成につなげていることだと感じています。

はじめの一步は、あいさつであり、単に「おはよう」でも良いですが、「名古屋 太郎さん、おはよう!」と、一人ひとりの名前を呼びかけてあげることだという事例がありました。多様な人材を活かしていく監督者は、多くの課題に直面していますが、それを乗り越えていくための基本は、部下である前に、人として接するということであり、先ずは、相手を認める事、聞いてあげることだと思います。

聴講される皆様も、コミュニケーションのHow Toを学ぶよりも、人として発表事例に接し、「気づき」を感じとっていただければと思います。

部下への「思いやり」と「寛容の精神」、周囲への「感謝」と「謙虚な姿勢」で、自分が持てる力で出来ること、やりたいこと、やるべきことを、「強い思い」を持ち続け形にしていけるために、今大会の多くの事例を、それぞれの現場に持ち帰っていただき、製造現場の明るい未来に向け、ご活躍いただければ、幸いです。

第一線監督者の使命



参加申込規定

■参加料(税込)

《会場参加》

	参加料(税込)	
	一般社団法人日本能率協会会員	1日
	2日間	50,600円/名
上記会員外	1日	30,800円/名
	2日間	57,200円/名

《オンライン参加》

	参加料(税込)	
	一般社団法人日本能率協会会員	1日
	2日間	151,800円/ID
上記会員外	1日	92,400円/ID
	2日間	171,600円/ID

※1 IDで複数人で視聴可能 ※同日で複数端末で同時ログイン不可
※1 IDにつき、最優秀事例賞1票(申込者に投票用WEBサイトを案内)

■キャンセル規定

開催15日前~開催8日前(開催当日を含みます).....参加料の10%
開催7日前~前々日(開催当日を含みます).....参加料の30%
開催前日および当日.....参加料全額
電話でご確認後、所定のお手続きをお取りください。万が一キャンセルの場合、初回のお申出の日付により上記キャンセル料が発生します。
(注)キャンセルの場合は必ずJMAマネジメントスクールの問い合わせフォームよりご連絡ください。

■オンライン参加のご案内

- オンラインへのお申し込みの方は開催1週間前を目安に、視聴に必要な操作方法と配信アクセス先をご案内いたします。テキストはPDFでダウンロードしていただけます。
- 貴社の通信環境による、画像・音声の不具合が生じた場合に対して、小会は責任を負えません。事前にご了承ください。
- 本催しの資料及び画像配信映像などの録画、録音、撮影の複製並びに二次利用は一切禁止です。

■免責事項

天災地変や伝染病の流行、研修会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の小会が管理できない事由により研修内容の一部変更および中止のために生じたお客様の損害については、小会ではその責任を負いかねます。詳細はHPをご覧ください。 <http://school.jma.or.jp/entry/index.html>

■個人情報の取り扱いについて

一般社団法人日本能率協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は小会の個人情報保護方針(<http://www.jma.or.jp/privacy>)をご覧ください。なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本催し物に関する確認・連絡およびJMA主催の関連催し物のご案内をお送りさせていただく際に使用させていただきます。

■会員制度のご案内

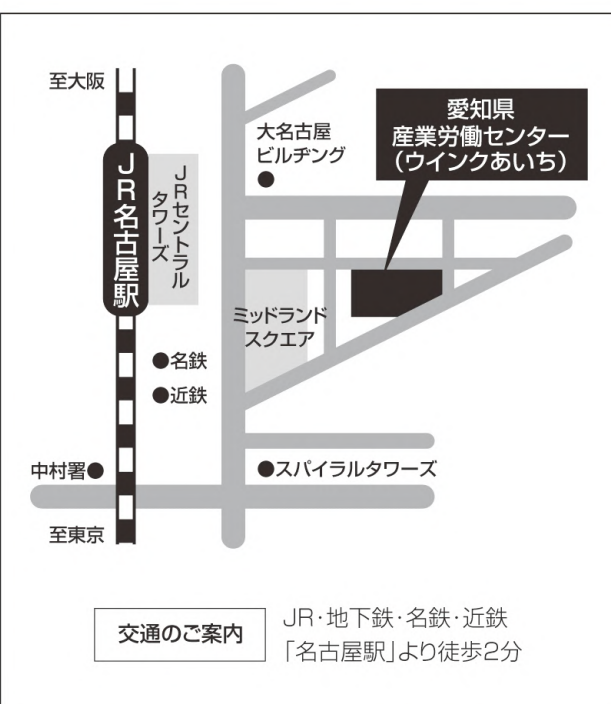
一般社団法人日本能率協会は法人を対象とした法人会員制度を設け、セミナー参加料割引をはじめ各種サービスを提供しております。会員外の方はこの機会に是非入会をご検討ください。

■プログラム内容に関するお問い合わせ先(企画担当)

一般社団法人日本能率協会
「第一線監督者の集い：名古屋」事務局
〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22
TEL: 03-3434-1410(直通)

■会場案内

愛知県産業労働センター(ウイング あいち)
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38
TEL:052(571)6131 <http://www.winc-aichi.jp/>



第41回 第一線監督者の集い：名古屋 企画委員会

(敬称略 所属名五十音順)

- 委員長 株式会社豊田自動織機 人事部 主査 桑野安史
- 主査 株式会社日本能率協会コンサルティング SX事業本部 本部長 茂木龍哉
- アドバイザー SGAアドバイザー SGAアドバイザー 家田一美

運営委員

- 株式会社アイシン 人材育成部 主幹 田中 優
- オリンパス株式会社 製造機能 製造・修理統括 人材開発ディレクター 柴 史也
- 株式会社クボタ KPS推進部 KPS推進統括課 担当課長 鈴木 誠二
- グローリー株式会社 機能生産技術部 部品技術G 丹下 賢造
- ダイキン工業株式会社 滋賀製作所 空調生産本部 滋賀製造部 モノづくり支援専任部長 小倉 博敏
- 大同特殊鋼株式会社 技術企画部 技術企画室 副主任部員 木村 重利
- ダイハツ工業株式会社 生産調達本部 工務部 主担当 中川 智雄
- 株式会社デンソー 品質管理部 上級キャリアエキスパート 藤本 高宏
- 株式会社東海理化 生産調査部 企画総括室 豊田 智一
- トヨタ自動車株式会社 トヨタ技能者養成所 所長 深津 敏昭
- トヨタ紡織株式会社 技能育成部 技能育成推進室 グループ長 南里 匡一
- 日本ガイシ株式会社 品質経営統括部 マネージャー 川口 定
- パナソニックホールディングス株式会社 マニファクチャリングイノベーション本部 課長 岩瀬 鉄平
- 富士フイルムマニファクチャリング株式会社 事業推進部 部長 野口 健
- 古河AS株式会社 ものづくり改革本部 副本部長 京道 英治
- 株式会社村田製作所 モノづくり技術統括部 モノづくり強化推進部 生産革新課 マネージャー 佐藤 淳崇
- ヤマハ株式会社 楽器・音響生産本部 企画管理部 管理グループ 主幹 袴田 雅彦
- ヤマハ発動機株式会社 生産本部 生産戦略統括部 生産管理部 部長 松本 和幸

お申込みについて

定員になり次第、申込受付を終了します。お早めにお申込みください。

パソコン(各種検索サイト)から
ダイレクトで

セミナーID(半角数字)

JMA100331

検索

もしくは、<https://school.jma.or.jp/>

※貴社の情報セキュリティ方針等でwebからのお申込みが難しい方は
JMAマネジメントスクールまでお電話にてお問い合わせください。
TEL:03(3434)6271